

授業概要

旅行会社の重要なビジネスパートナーであるホテル、旅館との具体的な協業経験から、この授業では、皆さんが家族旅行や修学旅行で利用したことのある旅館やホテルなどの宿泊施設を、お客様の目線はもとより、サービス・おもてなしを提供する側から学び、この業界の現状や今後について考えます。また旅行会社にとって重要なパートナーである旅館・ホテルとアライアンスを結び定期的な会合、意見交換を行い、旅行商品を造成し、ウィンウィンの関係にあることなども学びます。さらに宿泊業の経営改善や今後の方向性について見ていきます。

授業計画

第 1 回	授業オリエンテーション（授業の進め方と学び方）
第 2 回	旅館の歴史（奈良時代から始まる宿泊産業）
第 3 回	旅館の特徴（女将さんと仲居さん）
第 4 回	旅館の現状
第 5 回	温泉と温泉旅館（温泉街の現状と地域活性化を考える）
第 6 回	旅館は日本文化そのもの（日本料理・温泉・おもてなし）
第 7 回	旅館と経営（旅館の経営状況と問題点を考える）
第 8 回	旅館とホテルの違い
第 9 回	ホテルの歴史（始まりは江戸時代末期・開国時から）
第 10 回	ホテルの特徴と他の宿泊施設
第 11 回	ホテル経営と実務（宿泊部門、食飲部門、宴会部門・ブライダル）
第 12 回	日本のホテルのマーケティング
第 13 回	旅館業の今後の進む道を考える
第 14 回	インハウンドの動向と対応
第 15 回	まとめ（宿泊業の今後の展開）
第 16 回	定期試験またはレポート

到達目標

- ・宿泊産業について興味を持ち、将来の就職先の一つの候補となる。また、ホテルビジネス実務検定試験にも挑戦できる。
- ・授業を通じて日本旅館の持つすばらしさや様々な問題点を理解したうえで、今後の方向性について自分の考えを提案できる。
- ・旅館、ホテルのマーケティング戦略に触れることでこれまでとは違った視点で宿泊施設を見たり、利用することができる。

履修上の注意

宿泊業に関連するニュース、新聞、旅行情報誌やWebサイトに意識して接して、授業に対する興味を持ちましょう。授業の順番は変わることがあり、映像を使用することもあります。

予習・復習

予習・復習は授業内で適宜指示します。

評価方法

定期試験またはレポート（70%）、授業内の小テスト（20%）、授業態度（10%）を総合的に判断し評価します。

テキスト

使用しません。必要に応じて授業資料を配布します。